

18年度決算審査質疑

昨年同様、懸案事項である滞納未収金について、質疑が集中し、法的手段等の具体的な方法が、論議された。

交付税

問 (西山議員)

実質単年度収支は、交付税の見直しが行なわれたが、結果は。

答 (田中総務課長)

実質単年度収支は3、032万円。

約2億円の普通交付税の減額になった。今後とも歳出削減をはかる。

町営住宅

問 (川島議員)

住宅使用料の収入未済額493万円は。

答 (押村地域整備課長)

総戸数220戸、現年度の住宅使用料、過年度の住宅使用料、駐車場の未収金総額。

地方債

問 (岡田議員)

地方債現在高が146億円、償還ピークはいつか。また、来年は増えるのか。

答 (田中総務課長)

来年度は、元金の償還約15億円で減る方向。ピークは、2、3年後になる。

情報基盤

問 (森田議員)

旧大山地区の5水系の簡易水道の料金統一について集落に向いて話をしている。

答 (山口町長)

大容量の高速通信基盤を活かしていける方法を考えていきたい。

大山ファンクラブ

問 (吉原議員)

大山ファンクラブは、旧大山町出身の方がゼロ。増やす方法は。

答 (山口町長)

広報などに載せながら、町民の皆さんに加入される方をご紹介いただく。

町税

問 (近藤議員)

滞納対策室の現体制で、増える滞納金の徴収等は、十分に対応していけるのか。

答 (野間税務課長)

税の未収金の総額は、2億8、000万円。そのうち不納欠損が608万円。現実には納付する能力のない方の滞納金がどのくらいあるのか。

答 (岩井議員)

あすなる児童館運営事業費で817万円の中身は。

あすなる児童館

問 (岩井議員)

放課後、夏・冬季休業中、朝からずっと農園作業等を行っている。

答 (近藤人権推進課長)

農園作業等の決算額は143万円。その他、児童館だよりの発行、臨時職員等の経費を合わせた金額。

農林水産費

問 (秋田議員)

農林水産費の繰越明許、不用額が多い原因は。

答 (池本農林水産課長)

主なものは、農業集落排水事業の繰出金1、600万円。繰越明許は、港の整備事業で3月末の工期内に工事が終わらなかったため。

平成18年度 滞納状況 (抜粋)

(単位:万円)

区分	平成18年度		
	現年度分	過年度分	合計
町民税	458	1,744	2,202
固定資産税	1,872	8,431	10,303
軽自動車税	93	178	271
町営住宅使用料	160	333	493
保育料	13	19	32
給食費	0	131	131
途中省略			
国保税	4,184	10,852	15,036
住宅新築資金貸付	1,506	29,173	30,679
介護保険	153	431	584
農業集落排水分担金	149	45	194
農業集落排水使用料	64	150	214
公共下水道事業分担金	0	221	221
公共下水道事業使用料	111	1,304	1,415
水道事業 水道使用料	727	3,030	3,757
大山町滞納総合計	9,565	56,247	65,812



大山ファンクラブ